

伊勢湾貧酸素情報（第 4 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、三重県側に広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されています。

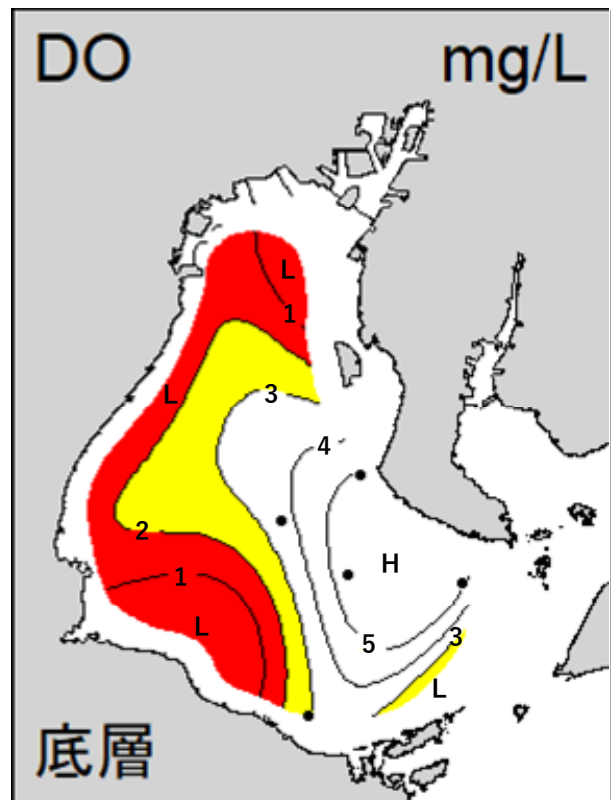
9 月 1 日の調査結果

9 月 1 日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 26.9～29.6℃、10m で 23.9～25.1℃、底層で 21.3～24.9℃ の範囲にあり、表層は平年より高め、10m と底層は平年並となっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 7.1～10.0 mg/L、10m で 0.7～5.0mg/L、底層で 0.5～5.7 mg/L の範囲にあり、表層は平年並、10m は平年よりかなり低め、底層は平年よりやや低めとなっていました。

底層では、三重県の沿岸域に沿って広い範囲で 2 mg/L 以下の貧酸素水塊が形成されました。

表層と底層の水温差などは小さくなってきていますが、まだ海水の上下混合が起こりにくい環境にあり、しばらく貧酸素状態は継続するものと考えられますので、漁場の選定や操業の参考にしてください。



底層貧酸素水塊分布図